

～インターンシップ体験記～

未来をつかむ富高生



この写真は図書館の職員の方に協力してもらいました。

私たちは富川高校2年生の高橋聖と高畑佳奈と寅尾良聖です。

9月21日、22日の2日間、富川高校2年生によるインターンシップが行われました。社会人として必要な力を身につけるために行われているこの活動では、23名それぞれが自分の未来をつかむため職場体験を行いました。

私たち3人が役場で体験したことを記事にしましたので是非ご覧ください！



たかはしひじり
高橋 聖

たかはたかな
高畑佳奈

とらおりょうせい
寅尾良聖



100歳を迎えられた島田道徳さんに祝い状と記念品が贈られました。島田さんに今のお気持ちを伺ったところ「大変うれしい。皆様のおかげです。」と元気に話されました。島田さんは一人でバスに乗って札幌に行く機会があるので「パチンコに行くのが楽しい。」と話され、これが元気の秘訣のようでした。

門別図書館では山崎ゆうさん、鈴木翔真さんが本の貸出や返却の対応業務や本のフィルムがけの作業を体験しました。2人は「緊張した。想像より貸出の仕組みが複雑だったが、サポートがあって分かりやすかった。」と話し、2日目への意気込みとして「1日目とは違う業務もあるので頑張っていきたい。」と語っていました。



役場では広報巻き込み作業の体験をしました。作業は機械でやっていると思っていましたが、梱包や配布する部数の確認など全部手作業でやっていることを知り驚きました。私たちは部数の確認作業を行い、普段見られない裏側の仕事を体験でき、地域のために働く職員の姿が見られてとても良い経験になりました。



最終日は、大鷹町長とも話す機会があり進路につながる大変貴重なお話を聞くことができました。ちなみに、町長の好物は、寿司・そば・天ぷらだそうです。今回、役場の仕事を通して知らなかった広報の巻き込みや記事作成などを体験し、これからの進路活動に繋がる未来をつかむ貴重な経験をすることができました。



写真はすべて私たちが撮りました！

